

2026年3月26日

各位

会社名 Delta-Fly Pharma株式会社
代表者名 代表取締役社長 江島 清
(コード:4598 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部門担当 黒滝 健一
<https://www.delta-flypharma.co.jp/ir/ircontact/>

(訂正)「DFP-10917とVENとの併用による臨床第1/2相試験のDMC評価結果に関するお知らせ」
の一部訂正とお問い合わせに関するお知らせ

2026年3月25日公表しました「DFP-10917とVENとの併用による臨床第1/2相試験のDMC
評価結果に関するお知らせ」の中で、一部訂正とお問い合わせにつきまして、お知らせします。

1. 【訂正箇所】

<訂正前>

～ 省略 ～

DMCは報告された有効性の概要を検討し、第1相の安全性コホートにおける全奏効率が50%(完全寛解CR1例、微小寛解MLFS2例)、第2相拡大コホートにおける全奏効率が53%(不完全寛解CRi3例、微小寛解MLFS3例)であったことが確認された。これに伴い、4例が幹細胞移植に移行した。

～ 省略 ～

<訂正後>

～ 省略 ～

DMCは報告された有効性の概要を検討し、第1相の安全性コホートにおける全奏効率が50%(完全寛解CR1例、微小寛解MLFS2例)、第2相拡大コホートにおける全奏効率が53%(不完全寛解CRi3例、微小寛解MLFS3例、部分寛解PRが3例)であったことが確認された。これに伴い、4例が幹細胞移植に移行した。

～ 省略 ～

※ 下線部分が訂正箇所

2. 【ご質問】

昨日(3月25日)にお知らせしました「DFP-10917とVENとの併用による臨床第1/2相試験のDMC評価結果に関するお知らせ」について、「第1相の安全性コホートにおける全奏効率が50%(完全寛解CR1例、微小寛解MLFS2例)※1、第2相拡大コホートにおける全奏効率が53%(不完全寛解CRi3例、微小寛解MLFS3例)※2であったことが確認された。」内容について、全奏効率に相違があるのではないかと、誤植ではないかのお問い合わせがありました。

<回答>

ご質問について、訂正箇所を含めた計算根拠を以下に記載します。

上記※1の第1相の安全性コホートは、登録された患者6名のうち、完全寛解CR1例、微小寛解MLFS2例の3例が該当します。

$$3 \text{ 例} / 6 \text{ 例} = 50\%$$

上記※2の第2相拡大コホートは、登録された患者17名のうち、不完全寛解CRi3例、微小寛解MLFS3例、部分寛解PRが3例の9例が該当します。

$$9 \text{ 例} / 17 \text{ 例} = 53\%$$

以上